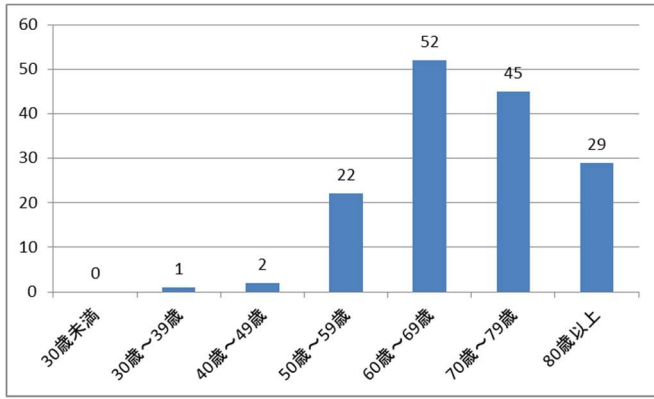
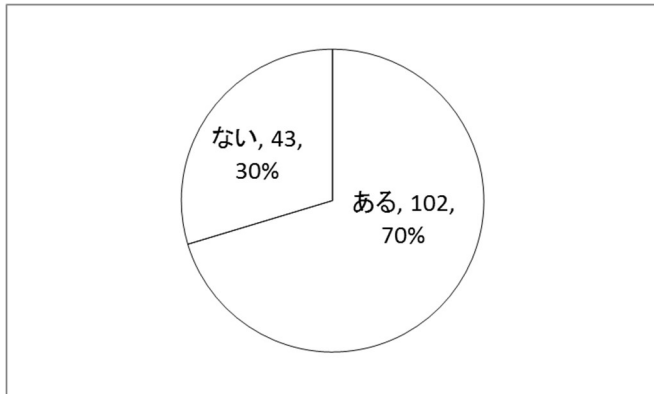


袋井東地区

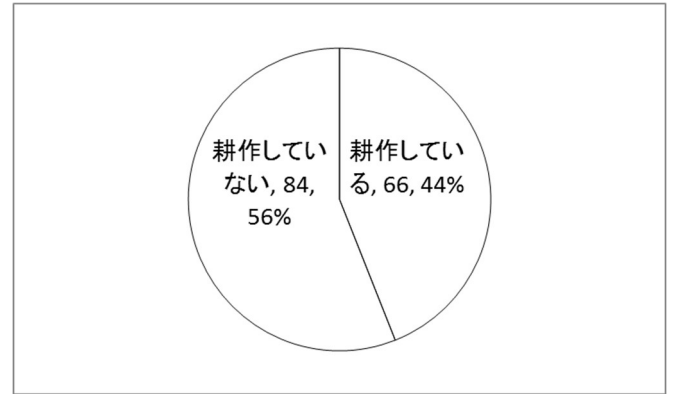
回答年齢



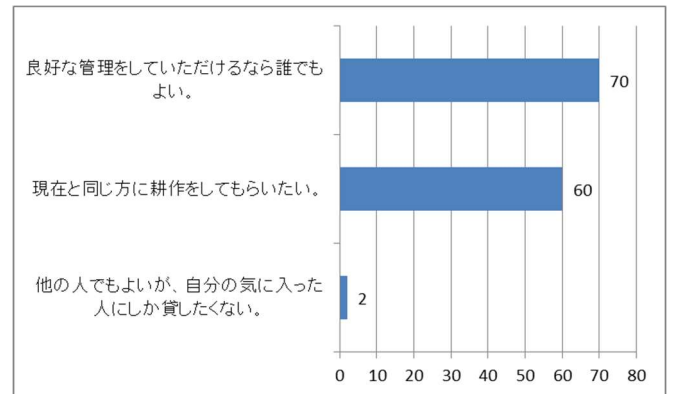
Q2-1 所有農地について 耕作を依頼している土地がありますか。



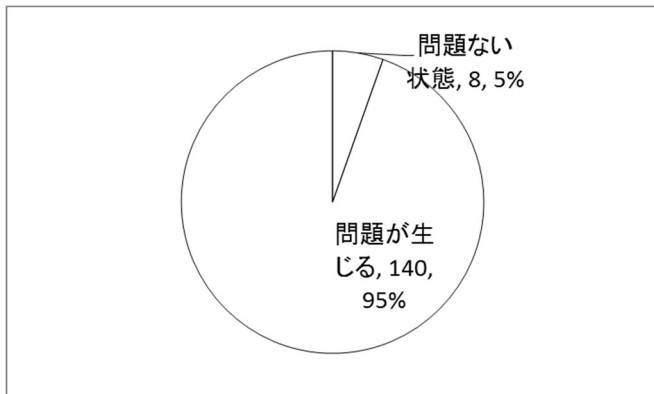
Q1 ご自身の営農状況について 現在、ご自身で耕作していますか。



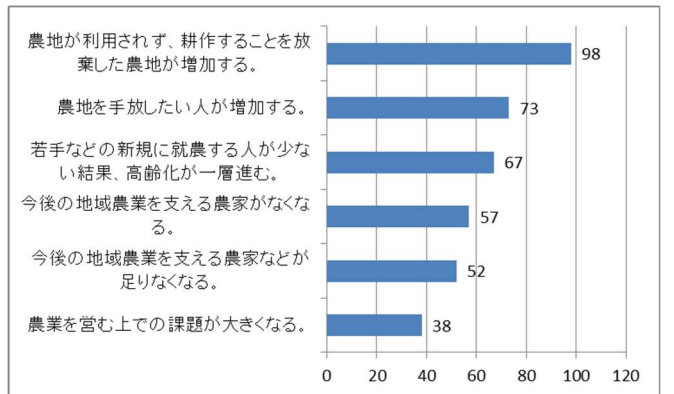
Q2-2 今後、集約化にあたり借り手を変更する場合どのように思いますか。



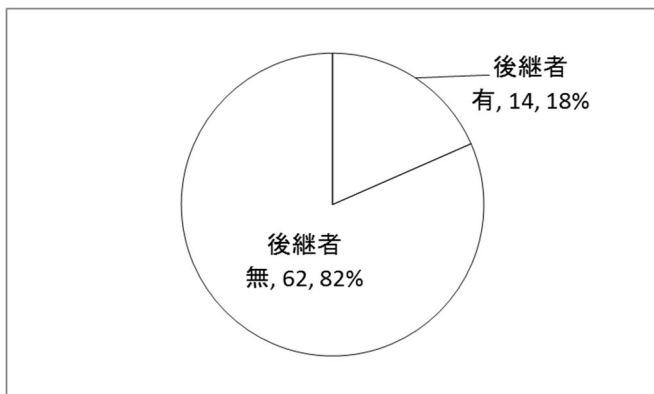
Q5-1 あなたの地域の農業（人と農地）は10年後にどのようになっていると思われますか。



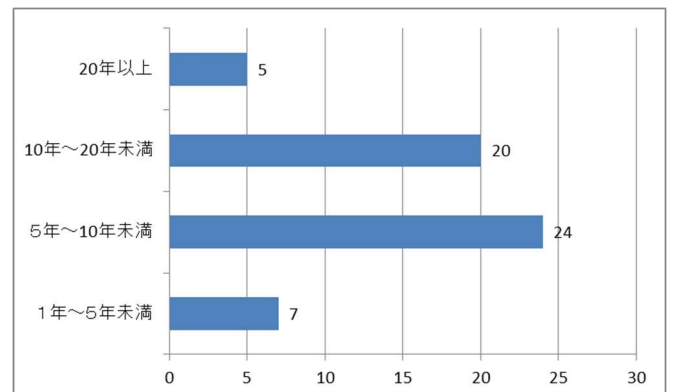
Q5-2 問題と思われる課題



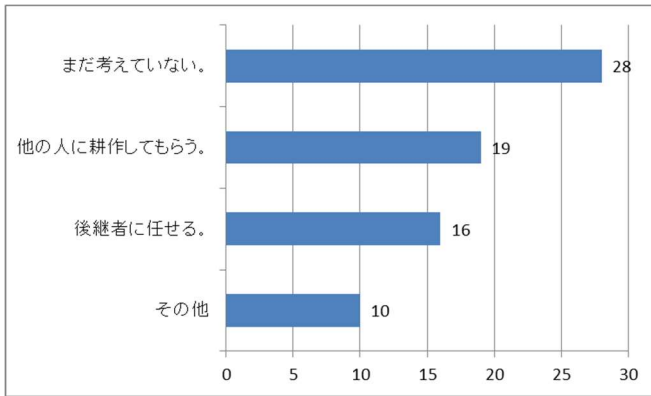
Q7-1 後継者の有無



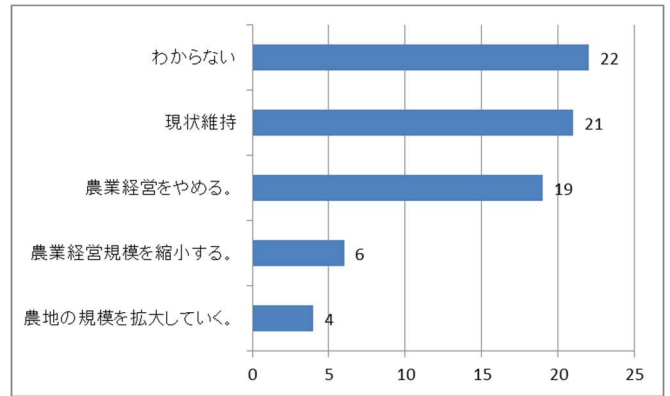
Q7-2 あと何年耕作を続けると思いますか。



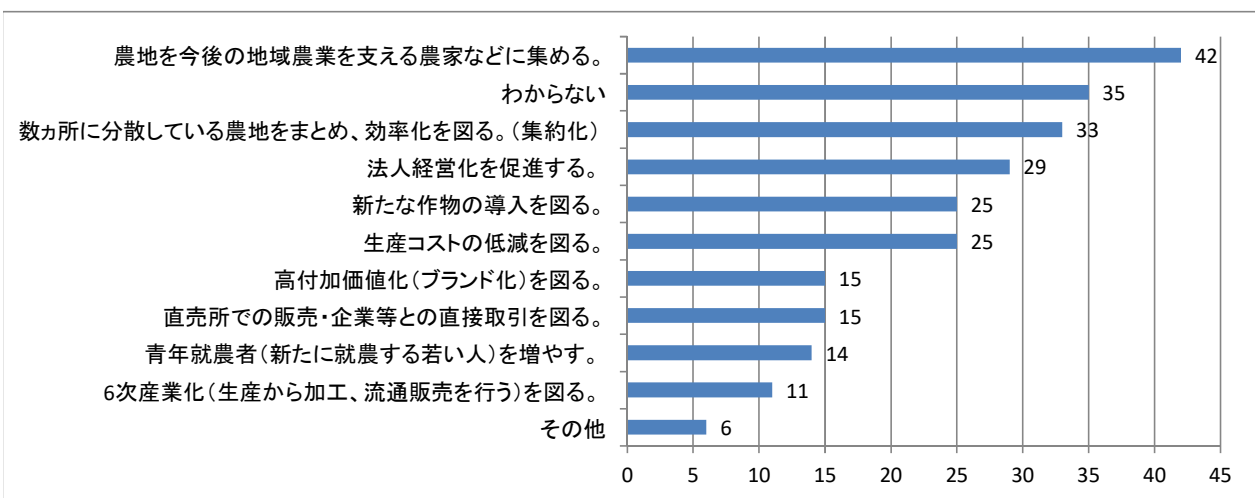
Q7-3 今後、耕作を続けられなくなった場合どうしますか。



Q9 今後（10年後）のあなた自身の経営方針を教えてください。



Q10 今後の（10年後）の地域農業について、どのような取り組みを行い、発展させていく必要があると思いますか。



袋井東地区農業推進委員会 アンケート結果

【対象者】 213人

【回答者】 156人

【性別】 男性 138人 女性 15人 法人 3法人

【耕作地】 袋井東地区 129人 袋井西地区 3人 袋井南地区 3人
今井地区 3人 三川地区 3人 山梨・宇刈地区 13人

【職業】 専業農業者 34人 兼業農業者（会社員） 28人
兼業農業者（自営業） 12人 農業以外 65人 法人 2

【年齢】 30歳未満 0人 30歳～39歳 1人 40歳～49歳 2人
50歳～59歳 22人 60歳～69歳 52人 70歳～79歳 45人
80歳以上 29人 法人 2

【耕作面積】 ①未耕作 49人 ②10,000㎡未満 50人
③10,000㎡～20,000㎡ 18人 ④20,000㎡～30,000㎡ 5人
⑤30,000㎡～50,000㎡ 9人 ⑥50,000㎡以上 9人

【設問1】ご自身の営農状況について

1 現在、ご自身で耕作していますか。

耕作している 66人 耕作していない 84人

【設問2】所有農地について

1 耕作を依頼している土地がありますか。

ある 102人 ない 43人

2 今後、集約化にあたり借り手を変更する場合どのように思いますか。

① 現在と同じ方に耕作をしてもらいたい。 60人

② 他の人でもよいが、自分の気に入った人にしか貸したくない。 2人

③ 良好な管理をしていただけるなら誰でもよい。 70人

【設問3】 今後、所有している農地について、どのように考えておりますか。(未耕作者)

- | | |
|---------------------|-----|
| ① 今後も農地として、耕作してもらう。 | 50人 |
| ② 農地以外の用途に利用していく。 | 12人 |
| ③ その他 | 25人 |

【設問4】 集約化に向けた課題 地域内で年貢、小作料の統一が必要か

- | | |
|-------------------------------------------------------------------|-----|
| ① 統一すべき (例 10a 当たり 10,000 円) | 32人 |
| ② 統一すべき (面積割 (例) 20a 以上 10,000 円、10a~20a 8,000 円
左記以外 5,000 円) | 18人 |
| ③ 農地等の条件が違うため、統一はできない。 | 77人 |
| ④ その他 | 10人 |

【設問5】 あなたの地域の農業 (人と農地) は 10 年後にどのようになっていると思いますか。

- 1 問題ない状態 (各世代の農業者によって持続的な農業が営まれている) 8人
- 2 次のような問題が生じる。

(問題と思われる課題を回答してください[複数回答可])

- | | |
|---------------------------------|-----|
| ① 農地が利用されず、耕作することを放棄した農地が増加する。 | 98人 |
| ② 今後の地域農業を支える農家がなくなる。 | 57人 |
| ③ 今後の地域農業を支える農家などが足りなくなる。 | 52人 |
| ④ 若手などの新規に就農する人が少ない結果、高齢化が一層進む。 | 67人 |
| ⑤ 農地を手放したい人が増加する。 | 73人 |
| ⑥ 農業を営む上での課題が大きくなる。(例：近隣からの苦情等) | 38人 |

【設問6】 耕作することが困難となった場合 貸出方法 (複数回答可) 農地を貸し出すことになった場合について、どのような方法が良いと考えていますか。

- | | |
|------------------------------|-----|
| ① 貸し手と借り手相対で行う。(利用権設定事業) | 59人 |
| ② 農地中間管理機構が仲介して行う。(農地中間管理事業) | 90人 |

【設問7】 耕作している方にお聞きします。現在、後継者の目処はついていますか。

1 後継者の有無

- | | |
|-----|-----|
| ① 有 | 14人 |
| ② 無 | 62人 |

2 あと何年耕作を続けるとお考えですか。

- | | |
|-----------|-----|
| 1年～5年未満 | 7人 |
| 5年～10年未満 | 24人 |
| 10年～20年未満 | 20人 |
| 20年以上 | 5人 |

3 今後、耕作を続けられなくなった場合はどうしますか。

- | | |
|-----------------|-----|
| ① 後継者に任せる。 | 16人 |
| ② 他の人に耕作してもらおう。 | 19人 |
| ③ まだ考えていない。 | 28人 |
| ④ その他 | 10人 |

【設問8】 耕作している方にお聞きいたします。

現在、あなた自身の経営は、地域の中でどういう位置づけだと思えますか。

- | | |
|------------------------------------|-----|
| ① 地域の中心となる農家であり、今後も中心になると思う。 | 5人 |
| ② 地域の中心となる農家であるが、将来的には中心にならないと思う。 | 7人 |
| ③ 今は地域の中心となる農家ではないが、将来的には目指していく考え。 | 3人 |
| ④ 今は地域の中心となる農家ではなく、将来的にも考えていない。 | 38人 |

【設問9】 耕作している方にお聞きします。

今後（10年後）のあなた自身の経営方針を教えてください。

- | | |
|-----------------|-----|
| ① 農地の規模を拡大していく。 | 4人 |
| ② 現状維持 | 21人 |

- | | |
|----------------|-----|
| ③ 農業経営規模を縮小する。 | 6人 |
| ④ 農業経営をやめる。 | 19人 |
| ⑤ 分からない。 | 22人 |

Q9で規模を縮小する又は農業経営をやめると答えた方にお聞きします。

- | | |
|-----------------------------|-----|
| ① 農地は今後も（貸すなど）農地として残していきたい。 | 12人 |
| ② 農地以外の用途で活用したい。 | 18人 |

【設問10】今後の（10年後）地域農業について、どのような取組を行い、発展させていく必要があると思いますか。〔複数回答可〕

- | | |
|-----------------------------|-----|
| ① 農地を今後の地域農業を支える農家などに集める。 | 42人 |
| ② 数カ所に分散している農地をまとめ、効率化を図る。 | 33人 |
| ③ 生産コストの低減を図る。 | 25人 |
| ④ 新たな作物の導入を図る。 | 25人 |
| ⑤ 直売所での販売・企業等との直接取引を図る。 | 15人 |
| ⑥ 6次産業化（生産から加工、流通販売を行う）を図る。 | 11人 |
| ⑦ 高付加価値化（ブランド化）を図る。 | 15人 |
| ⑧ 青年就農者（新たに就農する若い人）を増やす。 | 14人 |
| ⑨ 法人経営化を促進する。 | 29人 |
| ⑩ その他 | 6人 |
| ⑪ わからない。 | 35人 |

◎ご意見等

- ・ 農業者の減少により、用排水の維持管理、草刈、災害時のワラ等の処理等がさらに難しくなると思われますので、部農会や災害時の農業者へのフォロー等の取り組みが必要だと思えます。

- ・生産効率を上げていくためには、農地を集約化する必要を感じます。また、集約した農地を大区画化（土地改良事業）するには、一法人では無理です。そうした場合、集約化できない農地については、耕作ができないところがあります。
- ・村松地区は、用水・排水の不良な水田が多く1枚の面積が小さい。草刈の面積も多い。イノシシが田に入る。
- ・農業機械の価格が高くメンテナンス費がかかる。
- ・条件が良い水田は耕作されるが、小さい圃場・水はけが悪いところ等は、耕作放棄が進み、農村社会の景観も悪くなり若者の農村離れが激しくなる。
- ・生産コストの低減を図るためには用排水路整備等の基盤整備が必要である。
- ・イノシシの被害を受けている。
- ・太陽光パネルを設置して耕作放棄地を減らす。
- ・法人化を推進する。